

第九たいむず



No.36 2008. 2 21

通刊779 担当 鷹診



ホームページ: www.takasaki9.com メールアドレス: takasaki9@myad.jp

〒370-0046 高崎市江木町483 TEL/FAX: 027-323-0233 (団長渡辺) 携帯電話: 090-1828-8052 (事務局長小野里)

先週はイーゴリ公の「ハンの誉め歌」を初めてすべて通しました。練習用CDをよく聞いていただいている成果も出てきているのではないのでしょうか。この調子で歌い込みましょう。

♪先週の練習内容について

- 練習曲: 「ハンの誉め歌」(混声、全ページ)、「ポローヴの巡視」(男声)、「ダッタン乙女の踊り」(女声)、「ポローヴの娘達のコーラス」(女声)

「ハンの誉め歌」の注意事項

①楽譜の訂正

- P 30 2段目「O」～P 32までカット、歌いません(練習用CDに入っていない為)
- ※P 35 3段目～P 36(男性バレエの部分)も練習用CDには入っていませんが、ここはピアノで音を入れますのでカットしません。
- P 33～P 34 1段目まで アルト全員上の音を歌います。同箇所、テノール全員下の音(セカンドテノールの音)を歌います。

②演奏上の注意

- P 30→P 33への入り P 30の男声が歌い終わったらすぐに P 33の歌い始めになります。曲奏もガラッと変わりますので、歌い出しの準備をしっかりと。
- P 33～35の強弱変化 P 33 最初～P 34 1段目までは *f*(フォルテ)で歌い、P 34 2段目からだんだん弱くしていき、P 35 2段目2小節目からは *p*(ピアノ)で歌います。
- P 34 2段目 歌詩要注意! 「ぶどう はかげに うるる」→「葡萄 葉陰に うるる」
「葡萄は 陰に うるる」ではありません!

「ダッタン乙女の踊り(女声)」の曲奏

- 乙女のように美しく歌いましょう

「ポローヴの巡視(男声)」の楽譜変更箇所+注意点

- P 11 1 段目 Bass I と Ten. I の部分をテノール全員で、Bass II と Ten. II の部分をバス全員で歌います(↓詳細)。
 - ・テノール: 旋律「おおぞらはほしをかがやかせ おおぞらはつきをおくりだす」を歌います。
 - ・バス: バックコーラス部分「かがやかせ おくりだす」を歌います。
- P 10 3段目最後 テノール 3拍しっかり伸ばし、きちっと切りましょう(指揮を見ましょう)。
- P 13 2段目2小節目 *morendo*→*fade out*(消えていく)の意味です。

♪メイコンサート「ヨーロッパの薫り」本番は2008年5月18日(日)

- 1ステージ: イーゴリ公(アレクサンドル・ポルフィーリエヴィチ・ボロディン作曲、ロシア)
- 2ステージ: 先生方のソロステージ(歌・ピアノなど)
- 3ステージ: 椿姫(ヴェルディ作曲、イタリア)

高崎市文化会館大ホール(高崎市末広町23) 開場13時30分 開演14時 入場料1000円

♪第34回第九演奏会のアンケート 展示中

もうご覧になりましたか? 平和に対する生の声を見ると、こっちがたくさんの勇気を与えてもらっているとしみじみ思えます。演奏面についても良い評価を頂いている点が多いです(むしろ群響より多いかも?)。なお、決してお持ち帰りにならないようにお願いします。家でじっくり読む、なんてことは残念ながらできないのです。お客様がどう感じたか、みなさんも感じて!

♪メイコンサートの楽譜(400円)、練習用CD(100円)

練習用 CD、けっこう重宝します。家で CD 聞いて、木曜日は練習で歌う。頭の中に音ががっちり残りますよ。※練習用CDに写っている街は、特定の街を意識しない写真を選びましたが、どこでしょう？

♪コンサート情報

オペラ「夕鶴」(木下順二作 團伊玖磨作曲) つう:永井隆子／与ひょう:田村稔／惣ど:住谷伴
3月29日(土) 午後6時開演 桐生市市民文化会館小ホール 入場料:2500円(全席自由)
☆チケットのお求めは 田村先生、住谷先生まで

♪今後の練習日程(毎週木曜日、5月29日・12月25日だけお休み)

2月7・14・21・28日、3月6・13・20・27日、4月3・10・17・24日、5月1・8・15・22日
※3月20日(祝) 教会が使用不可。群響合唱団の行事とも重なっている為、お休みにするかどう
か検討中。詳細は本日の休憩時間にて。

※5月15日が合唱練習としては最終週。5月22日は総会 & ミニコンサート

※6月5日以降12月18日まで毎週木曜日練習。7・8月の練習会場は高崎市中央公民館へ

♪My Favorite Poem

【テノール 鷹診】

「音楽の前の……」 作詞:谷川 俊太郎

この静けさは何百もの心臓のときめきに満ちている

この静けさにかけがえのないあの夜の思い出がよみがえる

この静けさに時を超えた木々のさやぎがひそんでいる

この静けさをあなたと同じようにモーツァルトも知っていた

この静けさもまた時代のざわめきの中から生れたが

この静けさをどんな権力も破ることはできない

この静けさを私たちは愛する死者とわかちあう

この静けさはまだ生れてこない者たちに捧げられる

美しい大きな木の箱の宇宙でやがて私たちは無垢な子ども

音符の蝶々と戯れ旋律の急流を泳ぎ和音の森に憩い

トレモロの指にくすぐられアダージョの手に抱かれて

いつか見知らぬたましいの地平へと連れ去られる

人が音楽を愛するよりももっと深く 音楽は人を愛してくれる

せめぎあう人の歴史に背いて今日私たちは杯をあげる

この静けさに音は生れ この静けさに音は還る

この静けさから聴くことが始まりそれは決して終わることがない

♪文章間隙空間への字数充足のための無策的独白

最近仕事で安全衛生マネージャー的なことをやることになり、メタボ対策立案のためにネットを調べている
と、群馬県の四万温泉がメタボ改善に効くということで記事にされていました。結構信用ある有名なサイトで
した。せっかくなので、メタボ対策案に入れておこうっと♪

♪コソボ独立祝い「第九」コンサート 一斉に起立！

【事務局長あきら】

旧ユーゴスラビアの流れをくむセルビアから、2月17日コソボが
独立を宣言した。プリシュティナ市内のホールで、サチ首相やセイ
ディウ大統領らが出席するなか、コソボの管弦楽団「コソボ・フィル
ハーモニー」による独立を祝う記念コンサートが行われた。

計4曲のクラシック音楽を約1時間にわたって熱演した。最後に
ベートーヴェンの「歓喜の歌」が演奏されると、参加者が一斉に起
立し、涙を浮かべて独立の喜びをかみしめる光景もみられた。

テレビでも、第九を練習する風景が映し出されていた。国連治安
部隊が駐留している中での平和、真に喜べる日を願ってやまない。

